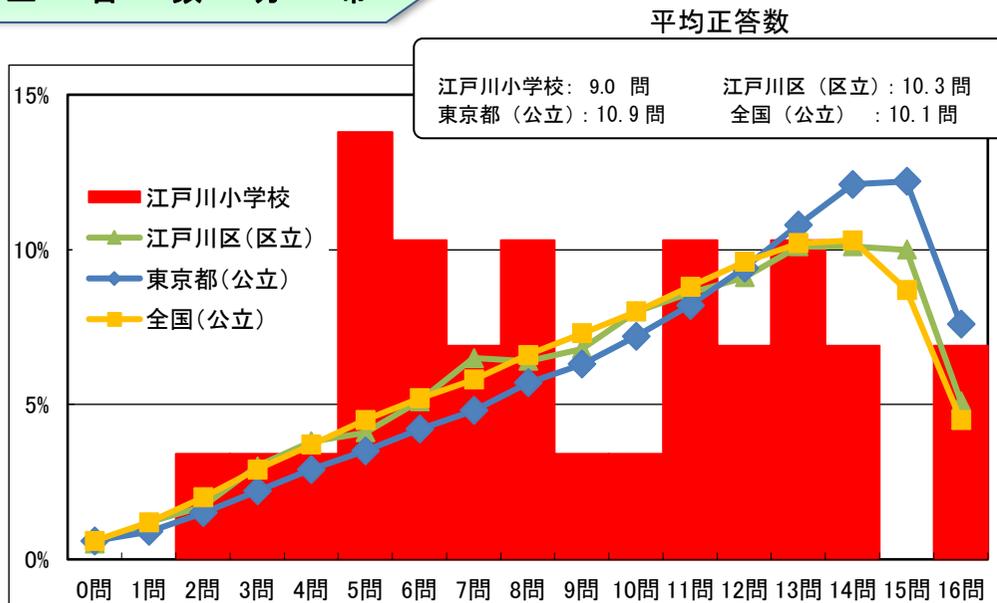
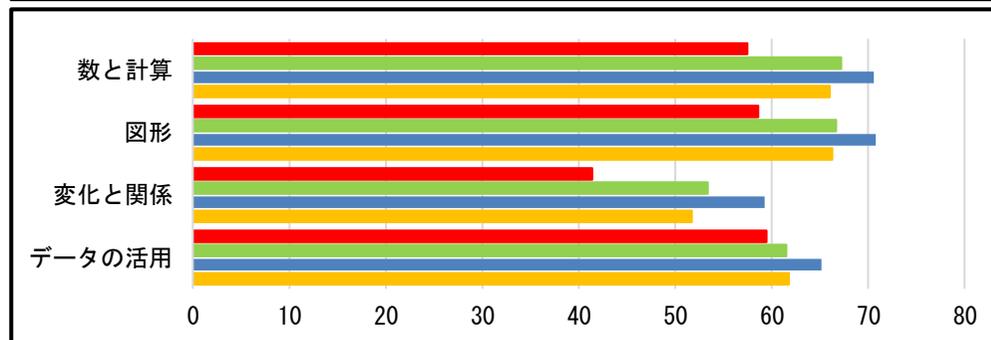
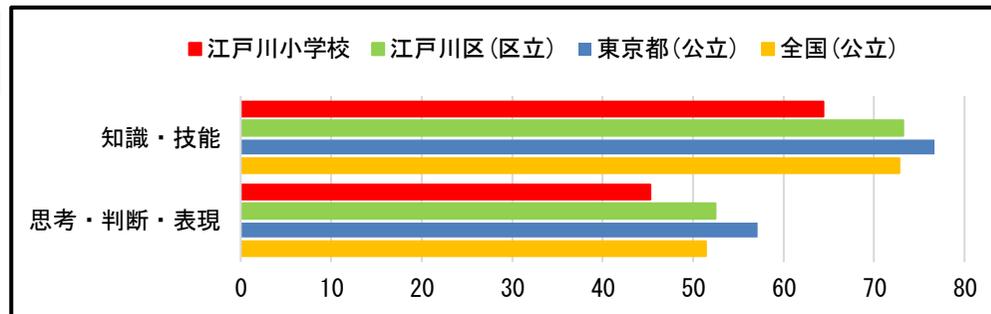


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 江戸川小学校

正答数分布



「領域別」の結果



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

算数	四分位			
	A層 14~16問	B層 12~13問	C層 8~11問	D層 0~7問
江戸川小学校	13.8	17.2	27.6	41.4
江戸川区(区立)	25.2	19.2	29.8	25.8
東京都(公立)	31.9	20.2	27.4	20.5
全国(公立)	23.5	19.8	30.7	26.0

【平均正答率の差】

江戸川小学校	56%
江戸川区(区立)	64%
東京都(公立)	68%
全国(公立)	63.4%
都との差	12ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

【分析結果】

正答率が東京都平均と比べて12ポイント下回った。特に、問題場面を的確に捉えて式に表すことや立方体の体積の求め方を式に表す問題に課題が見られた。

【授業改善】

問題場面を想起できるように、ICTを活用したり、導入の工夫をしたりしている。また、授業の中で、自分で考える時間を必ず設定し、自分で式に表す力や自分の考えを発信する力を育成している。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。